

運輸安全管理

平成28年7月1日～平成29年6月30日
第44期



日神運輸株式会社

本社営業所
岡山営業所

1. 社長安全基本方針

【第44期】平成28年7月1日～平成29年6月30日

物流の安全は企業経営の根幹であり、安全最優先なくして企業の存続はない。当社では、『輸送の安全確保・最優先』を安全基本方針とし、徹底する。

2. 安全輸送を確保する為の重点項目

- 「輸送の安全」が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令などに定められた事項を遵守する。
- 「輸送の安全」に関する費用及び投資を積極的且つ効率的に行うよう努める。
- 「輸送の安全」に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有すること。
- 「輸送の安全」に関する教育及び研修の具体的な計画を作成し、これを的確に実施すること。
- 運行管理者、整備管理者、運転者、車両及び施設等に関する施策については、関係法令等、別に定めるところによるものとする。

3. 輸送の安全に関する目標及び達成状況

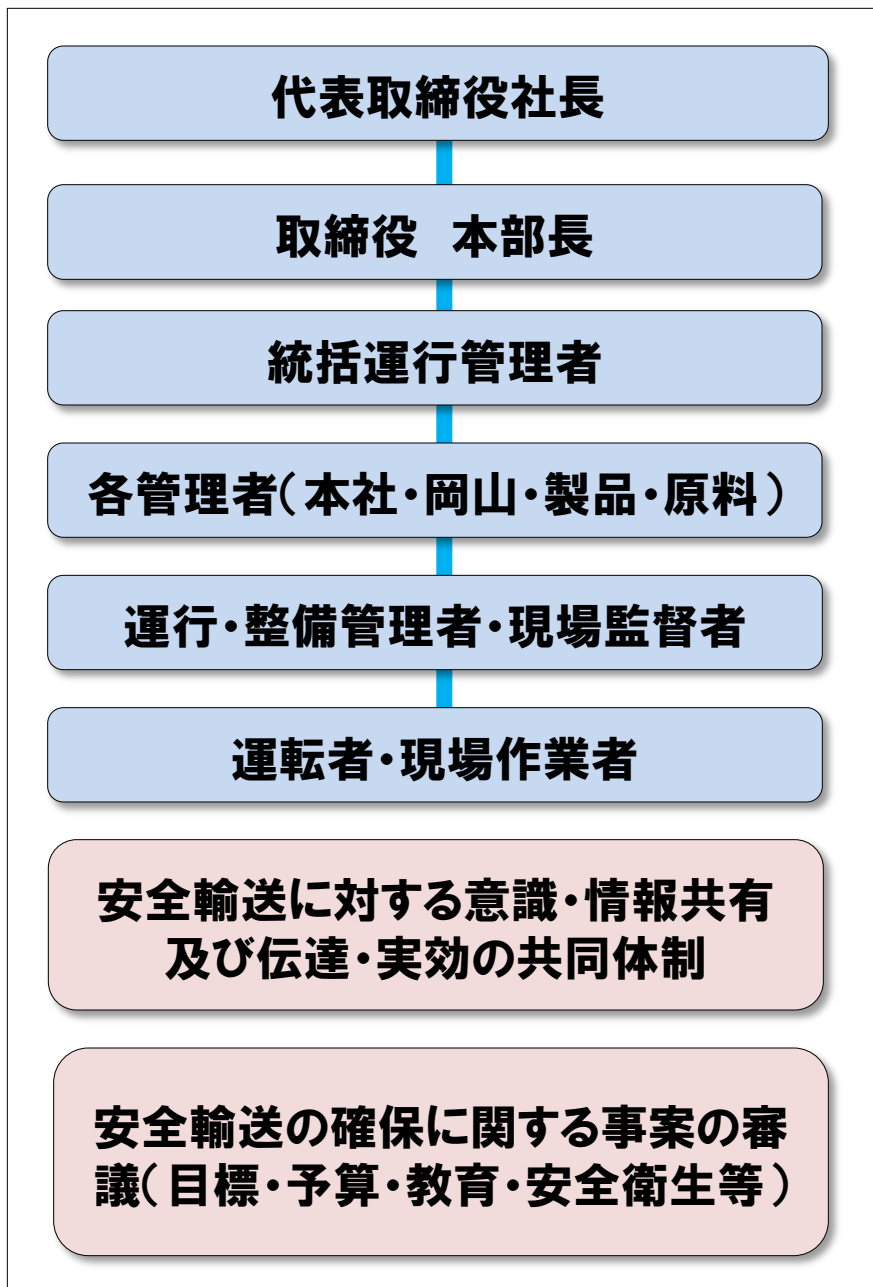
平成28年度【第44期】:目標		平成27年度	目標	結果	
平成28年7月1日～平成29年6月30日		人身事故	0件	0件	目標達成!
人身事故	0件	物損事故	0件	5件	
物損事故	0件	平成27年度【第43期】:平成27年7月1日～平成28年6月30日			

わが社の自動車事故報告規則第2条に規定する事故 平成27年度 0件

4. 安全輸送に関する実施事項

- 安全輸送に関する社内教育実施。
- 安全会議をタイムリーに開催し、内容・決定事項等の周知を図り掲示する。
- 事故・災害等に関する「報告・連絡・相談」体制及び指揮命令系統の強化を図る。
- 経営トップと現場代表者による意見交換・安全巡視等による適時適切な双方向の意思疎通を図る
- PDCAサイクル等を活用し、輸送の安全確保・向上を行う
- 安全輸送に関する情報の記録及び保存方法を定め、保存管理する。
- 作業基準書の整理及び作成

5. 安全輸送に関する社内組織図



6. 事故・災害等連絡体制図



7. 本年度教育及び研修計画

【第44期】平成28年7月1日～平成29年6月30日

	教育項目	教育内容
平成28年 7月	トラックを運転する心構え	トラック輸送の社会的重要性・社会的影響・安全運行の心構え
8月	トラックの安全運行のために遵守すべきこと	トラック運行に係る法令・義務を果たさない場合の影響の把握
9月	トラックの構造上の特性	トラックの特性に合わせた運転 トレーラーの特性に合わせた運転
10月	貨物の正しい積載方法	偏荷重の危険性・安全輸送のための積付け・固縛の方法・荷崩れ防止のための走行中の注意点
11月	過積載の危険性	過積載による事故要因と社会的影響・過積載による罰則・過積載の防止
12月	危険物を運搬する場合に留意すべき事項	危険物の性状・危険物輸送の基本事項・タンクローリー運行上の注意事項
平成29年 1月	適切な運行の経路および当該経路における道路及び交通の状況	適切な運行経路の選択と経路情報の把握・許可運送における経路選択
2月	危険の予測及び回避	危険予測運転の必要性・危険予測のポイント・危険予知訓練
3月	運転者の運転適性に応じた安全運転	適性診断の必要性・適性診断結果の活用方法
4月	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	交通事故の生理的、心理的要因・過労運転防止のための留意点・飲酒運転防止のための留意点
5月	健康管理の重要性	健康起因の事故と健康管理の必要性・健康管理のポイント・ストレスチェック
6月	安全成績と安全活動の総括	前年度比および内容についての総括・反省と決意表明

8. 日神運輸(株) 行動規範 -社内ルールと共に実践垂範事項-

お客様・荷主様の大切なお荷物を丁寧に扱い、安心・安全に輸送する事が使命であり、信頼できる会社を目指します。

経営トップのリーダーシップのもとに以下のことを徹底し、「輸送の安全確保・最優先」を実施していきます。

- 職場・職域単位での自主安全活動の実施推進します。
- 社内・社外の活動・行事・研修会・講習会等への積極的な参加をします。
- 経営トップからの改善事項の実施・推進します。
- 安全に関する各種情報の伝達とトップとの意見交換の推進をします。
- 各自の安全意識の徹底及び関係法令等に定められた事項を遵守をします。
- 双方向コミュニケーションによる、信頼関係の構築をします。
- 常に「プロドライバー」として自覚し、高い技術と知識を持ち、日々研鑽します。
- 一人一人が責任感を持って行動し、誠実な仕事をします。